

当社社長 宮内隆が第68回「前島密賞」受賞

当社代表取締役社長である宮内隆は、公益財団法人通信文化協会から、最新技術を積極的に導入し、他社の範となって地域インフラの高度化と業界全体の発展に貢献したことが認められ、第68回「前島密賞」を受賞しました。

前島密賞は、日本の逡信事業の創始者「前島 密」の功績を記念して、情報通信および放送の進歩発展に著しい功績があった人に授与される賞で、令和5年4月6日（木）東京都において贈呈式が行われました。

本件は、積極的な自主放送（コミュニティチャンネル）を通じた地域情報の発信や4K視聴環境の整備、伝送路の光化推進やローカル5Gの普及促進、防災情報の発信や新型コロナウイルス対策のための「えひめマナビジョン」（教育ch）「えひめすこやかチャンネル」（医療ch）の無料開放など緊急時における地域への貢献などが評価されたものです。

また、所属団体である日本ケーブル連盟において副理事長や通信・放送制度委員長として常に変化する社会環境や制度の変遷を適切に評価・分析し最新の状況を業界内に展開することで、業界全体の発展に貢献があったと認められました。

受賞に際しまして、日頃より地域の皆様から多大なるご支援を頂戴しておりますことに厚く御礼申し上げます。これからも当社は、地域の、地域による、地域のための重要な情報通信インフラとして、皆さまに必要とされる企業であり続けるよう邁進していく所存です。